

「美しい富山湾クラブ」設立趣意書

富山湾が、ユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」に、平成 26 年 10 月に加盟しました。

「湾は保護政策の対象、興味深い動植物が存在、地域住民にとって象徴的存在、周辺地域に経済発展の潜在性がある。」といった加盟基準に対して、雄大な立山連峰を望める景観などの自然環境と、漁業・工業・商業・観光などの経済活動が、バランスしていると評価された結果と思われます。



この素晴らしい環境は、ホタルイカや甘エビなど水産資源、立山の 3000m から富山湾の -1000m に至る特異な自然がベースにあってのものですが、崩れ続ける山や大雨が降れば氾濫する川を治め、魚の生態系を守る定置網漁業を編み出し、日本海側唯一の商船高専を誘致して海に関わる人を育ててきたといった、先人たちの自然を守りつつ経済発展に尽くしてきた不断の努力があってこそ守られた宝物です。

この宝物を後世に引き継いで行く必要がありますが、富山湾に関わる状況は大きく変化してきています。

まずは地球温暖化によって生態系が変化し、竜巻や大雨・暴風など今までの記録を大きく上回る気象が発生するとともに、プラスチック系の腐敗しないゴミが増えるなど、環境の激変があります。

海に関わる人も大幅に減少するとともに高齢化が進んでいます。漁業就業者はこの 20 年間に 3000 人台から 1000 人台となり、60 歳以上が半分以上になっています。ヨットなどを楽しむ層も昔 20 台だったメンバーがそのまま入れ替わらず 60 歳前後になっており、後継者が育っていません。富山高専の商船学科も、卒業生はほとんど海に関わらない会社に就職するのが現状です。

環境的にも人材的にも非常に困難な状況ですが、世界で最も美しい湾クラブに加盟したこと、および北陸新幹線の開業を機に、世界に認められた富山湾の魅力を再認識し、行動を起こす事によって、先人たちが守り育ててきた貴重な宝物である富山湾の魅力を国際的に通用するレベルに高め、後世に引継いで行けたらと期待しています。

よって、富山湾のファンクラブとして「美しい富山湾クラブ」を設立し、県民挙げて、富山湾のブランド力をさらに向上させ、魅力情報の発信に取り組むことによって、国内外の皆さんに富山湾を楽しんで頂き賑わいを創出するとともに、富山湾に関わる人々の誇りをさらに高めていけたらと考えています。

趣意に賛同頂き、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

平成 27 年 3 月 設立発起人

北陸経済連合会会長

永原 功

富山県観光連盟会長

高木繁雄

富山県セーリング連盟会長

四方正治